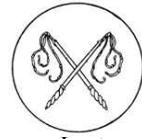


ひかり

2014年 3 月号



Lent
大齋節

日本聖公会 三光教会

第624号

〒142-0064 東京都品川区旗の台6-22-24
電話 03(3781)2554
FAX 03(3781)2544

<http://nस्क. org/tokyo/church/sanko/stephen/>

「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに開け。」(マタイによる福音書第17章5節)

創立 救主降誕1912年(大正元年)11月2日

「灰」として

今年の『大齋節』がはじまりました。大齋節は、キリストの受難を覚える期節です。この大齋節の目に見えるシンボルは、「灰」です。大齋始日を「Ash Wednesday・灰の水曜日」と呼ぶのは、そのことに起因しています。

「灰」というシンボルは、人が皆、塵で創られた、はかなく、もろい存在であることをわたしたちに諭します。しかし同時に、そのはかなく、もろい、塵である、わたしたちを、神がよなく愛してくれたこと、その愛を知らるようにと、わたしたちを導きます。そして、その神の愛は、イエスの十字架の上に、その死の中に、示されたことをわたしたちに教えます。

「創世記」に記された、人は土の塵で創られた、という人間創造の物語。その物語が旧約聖書の巻頭にあることの意味は、人びとが自己を正当化し、絶対視することへの一つの警告だといわれます。はかなく、もろい、けれど、神のいのちの息によって生かされている存在としての自己認識。もう少しいえば、いのちの神とのつながり

司祭 ニコラス 中川英樹

りがなければ、生きられないことの自覚。それをこの物語は、わたしたちに教えています。

わたしたちは、神に生かされる存在であって、決して神に成り代わることも、超えることもできない。誰かのものを奪う権利も、誰かを支配することも、物事の善悪の判断も、神に抛り頼むことの中でしかできない、そんな限界が自分にあること。大齋節のテーマである「克己」とは、このような自己であることを知ることです。

本月末をもって、三光教会を離任することになりました。5年半という時の中で、いろいろな人の想いに触れることができました。そして、いつも想わされたことは、自分の無力さと限界でした。でもそれは、ともすれば奢り、不遜に振る舞う、そんなわたしにとつての一つの大切な財産となりました。「できる」自分ではなく、「できない」自分をやっと認めることもできました。大きな感謝です。

最後に一言、わたしは三光教会が大好きでした。本当にお世話になり、ありがとうございました。

3月〜4月の予定

20日(土)	19日(土)	18日(金)	17日(木)	16日(水)	15日(火)	14日(月)	13日(日)	11日(金)	8日(火)	7日(月)	6日(日)	4日(金)	3日(木)	1日(火)	◆4月	30日(日)	28日(金)	25日(火)	23日(日)	21日(金)	19日(水)	18日(火)	◆3月	17日(月)	17日(月)				
復活日	聖土曜日	受苦日	十字架の道行	聖木曜日	復活前水曜日	復活前火曜日	復活前主日	復活前主日	十字架の道行	聖書に学ぶ会(旧約)	4月逝去者記念聖餐式	アメリカ大陸の殉教者	聖書に学ぶ会(新約)	主教リチャード	聖書に学ぶ会(新約)	十字架の道行	大齋節第4主日	十字架の道行	聖書に学ぶ会(旧約)	聖マリヤへのみ告げの日	大齋節第3主日	第122東京教区教会	十字架の道行	主教トマス・克蘭マー	聖ヨセフ日	聖書に学ぶ会(新約)	のシリル	主教教会博士エルサレム	主教パトリック

受聖餐者総会を開催

2014年2月23日（顕現後第7主日の第Ⅱ聖餐式の後）に三光教会受聖餐者総会を聖堂で開催。出席者87名。2013年度教務報告、活動報告、会計決算報告を承認。つづいて2014年度の活動計画と会計予算を承認し、新年度の活動スタートとなりました。2013年度の1主日平均出席者は152名、1主日平均陪餐者は127名と報告されました。どちらも、昨年度より減少していました。



婦人会だより 2月

2月16日 出席者35名

聖歌の後、中川司祭のお祈りに続き以下の話し合いをしました。

①中川司祭送別に関する件

②婦人会連絡網作成にあたって問題事項の話し合い

なお、当日は信徒総会を控えて資料の作成、また大雪による倒木の撤去作業、発送作業等多くの仕事があり「みことばの分かち合い」の合同講話は中止となりました。

（記・西川式子）

男子会だより 2月

2月16日 出席者14名

教会委員会の報告、会計報告の後今年度の行事について話し合いました。母の日食事サービスはやはり鉄火丼が期待されているらしい、研修旅行は釜石を第一案として企画担当などで素案を作り、いずれも3月例会で検討しよう、などでした。

例会終了後前日の大雪の被害、折れた桜の枝、中原街道に倒れかけた笹竹の整理、信徒総会資料製本の手伝いなどを手分けして行いました。

（記・永井信行）

青年会だより 2月

2月16日 出席者6名

J・ベイリー『朝の祈り夜の祈り』の分かち合いで会を開始しました。

春に研修会として他教会や施設を見学する予定で、候補地について検討を行いました。参加者には普段青年会に参加されていない方もお誘いする予定です。

夏には青年会の枠を超えて有志でキャンプを計画中です。

4月よりの新体制に向けて、これまでの歩みや恵みを共に分かち合う時を持ちたいと考えています。これまで続けてきたフィリピンについての学びを継続し、2015年の来日に向けて準備をしていく予定です。素晴らしい交わりの時を持つことができるようお祈りしていきます。（記・村上紗知子）

フィリピン協働だより

カパティラン・スタディツアー

（1/23〜2/9）報告会に参加して

写真・教務報告をする中川司祭

カパティランでは創立25周年を記念して、マニラとその近郊を目的地としたスタディ・ツアーを計画していましたが、昨年の台風被害を受けて、フィリピン聖公会が被災者救援センターを設けている中部バンタヤン島に目的地を変更しました。

2013年11月8日、超巨大台風がフィリピン中部を横断し、死者は7000人を超え、被災者は1200万人、避難生活者は400万人を超えたと言われています。カパティランではバンタヤン島の東にある小島、ヒランタガアン島（まだフィリピン政府や諸外国の援助が一切入っていませんでした）のナタスアン村を支援することを決定し、ダバオ教区も共に救援活動を推進することになりました。

ナタスアン村には87戸95家族が住んでおり、そのすべての家の屋根が台風で飛ばされていました。

台風から2ヶ月半たっているにもかかわらず85戸の家はまだ雨ざらしの状態だったそうです。神崎雄二司祭は村長とともに一軒一軒を回り、再建資材の必要量のリストを作って、バンタヤン島で建築資材を購入しました。その資

(3)

フィリピンには「バヤニハン」という言葉があるそうです。これは地域団結あるいは協力という意味ですが、もともとは引越しの



港からの木材を運ぶ村人たち

金は東京教区からの50万円、カバティランを通じての献金60万円など、合わせて132万円でした。神崎司祭はそのお金を現地通貨ペソに換え、小脇に抱えてバイクの後ろに乗り、資材を買い付けに回ったそうです。

それらは4日間かけて全部が小舟で島に運ばれ、村民が子供まで一緒になって、これを港から村の中心まで2キロの道を運びました。

時に地域の人たちが竹で枠を作り、家ごと担いで新しい場所に持って行った伝統のことで、まさにその「バヤニハン」の精神が発揮されたのでした。そして村人たちは、

遠いところから支援に来た日本人たちのために、自分たちが食べる分まで差し出してくれたそうです。今回は、両島で私たちの献金が具体的に活用されていく様子を現地で見るのができ、島の方たちの温かい気持ちに触れるすばらしい旅であったようです。今後漁業と農業の支援を行うとともに、

日本からのワークキャンプも考えており、皆様からの息の長いご支援をお願いします、とのことでした。(記・安次嶺佳子)

東日本大震災3周年
追悼と再生を祈る

チャリティコンサート

3月8日(土)午後7時から三光教会聖堂にて開催されました。

コンビーニ・デイ・クリスタが三光で行なうコンサートは2回目となりました。開催する毎に会衆は増え、今回は150名程来場されました。

三光教会2014年大齋研修プログラム

「生きることについて」

—イエスが見つめられた、いのちの輝き—

とき:第2聖餐式後 約1時間

ところ:三光教会聖堂

3月9日(日)大齋節第1主日

第1回 「生きることへの教育」

高田智子姉(香蘭女学校 校長)

3月16日(日)大齋節第2主日

第2回 「生きることへの協働」

吉川 晃兄(三光教会 信徒)

3月23日(日)大齋節第3主日

第3回 「生きることへの福音」

中川英樹司祭(三光教会 牧師)

4月 6日(日)大齋節第5主日

第4回 「生きることへの祝福」

ホアン・マシア神父
(上智大学神学部教授)

まず、中川司祭が聖書の言葉を読み、その後には聖書の言葉を原語で歌うをくり返しました。朗読と歌が交互にあり、礼拝とは一味違った雰囲気の中で、みなさんの心に、3年前のあの日の記憶と感覚がよみがえり、また今だ困難な中にいる方々を思い返し祈る時を持つことになりました。

後半には、現地からの報告もあり東京にいながら東北の現在を知ることになり、コンサートをとおして少しでも役に立つことを続けていかれたら、良いのではないかと感じました。会場で献げられた献金の総額は20万円を超えました。みなさまのご協力に心より感謝いたします。



追悼と再生を祈って

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時からお昼までご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

- ・礼拝様式に馴れない方は、礼拝中椅子にお掛けになったままで結構です。
- ・礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるもので、金額は自由です。
- ・その他、わからない点は隣の席の方か入口の案内係におたずねください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
 午前 7:30 聖餐式
 午前 9:00 ステパノ会
 (日曜学校)礼拝
 午前10:30 聖餐式
 午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝6:30の早祷に引き続いて聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2014年3月号(第624号)
 発行者：司祭 中川英樹 編集・印刷：三光教会広報委員会